

保育理念
『いきいき』

基本保育方針
『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』
『地域で安心して子育てができるように!』
『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

今月の主題
『年の暮れ 遠くの方で明日の音』

12月はこども坐禅会があります。0歳児から5歳児、すべてのこどもたちが心を静かに坐ります。築田寺でも長い時間坐禅をする「臘八撰心（ろうはつせっしん）」が行われています。この撰心「心をおさめる」という意味があり、私自身にとってもとても大事な時間です。流れる時間の中で、自分の「呼吸」を意識する時間。自分が今ここにいること。



「身・息・心」が大事だと言われていますが、日々の暮らしの中ではなかなか意識が届きません。毎日のままならなさと、その中でも抗いながら見つける幸せ。時には一旦、身も心も坐ってみる。私も子どもたちと一緒にそんな時を感じたいなと思っています。ご家庭でも「坐禅」について子どもたちに聞いてみてくださいね。

園長 齋藤美和

月	火	水	木	金	土
	1 こども坐禅会	2	3	4 園見学会 (オンライン)	5
7	8 成道会	9 誕生会	10 自然体験 (けやき組)	11 もちつき	12
14	15 避難訓練	16 自然体験 (けやき組)	17	18	19
21	22	23	24	25	26
28	29 保育納め	30	31		

～ しぜんの国の子どもたちのエピソード～



10月の終わりから、野焼きをかえて組の子どもたちと一緒に作り始めました。水分量の多い粘土を手でこねたり、指で押ししてみたりと感触を楽しみながら作っていた子どもたち。テーマの中から動物を選んだMさんは、動物図鑑の中からうさぎのページを開き、模様や大きさの違う様々なうさぎの中から自分のお気に入りを見つけ出し形作り始めました。作る過程の中で、顔と胴体とのバランスをみて作り直したり、目の位置を調整したり、こまかな所までこだわって作るMさん。会話のやりとりで動物の話題になると、「カワウソは見たことあるよ。お兄ちゃんも好きなんだよ」と家族と見に行った時のことを思い出して、粘土でも作りあげていました。その後、カワウソが乗る大玉を作ったり、動物の食べ物を作ったりと物語が展開していき、あっという間にお迎えの時間。帰りがけ「またつくろうね」と話していたMさんの表情はとても晴れやかでした。野焼き作りを通して、子どもたちの想いにふれることができ、とても幸せでした。これからも子どもたちから生まれる表現を共有できればと思います。

文・絵 上島

お知らせ

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、お仕事やご兄弟の学校等の休みも例年とは異なる場合があります。毎年、この時期に冬期期間の登園予定表を配布しお聞きしていますが、今年度は事前にご予定がわかる場合に直接担当までお知らせください。保育園は12月28日(月)保育納め、12月29日～1月3日 冬期休園期間、1月4日(月)保育始めとなります。
- ・もちつきについて数件お手伝いのお声掛けをしていますが、今年度保護者の方の参加は控えさせていただきます。お声掛けくださった皆様ありがとうございました。
- ・健康チェックシートを配布しています。今月も毎日必ず記入をお願いします。また、年末・年始期間も(12月29日～1月3日)必ず記入して下さい。(1月の用紙は月末に配布します)
- ・第三者評価の提出はお済みでしょうか。締め切りが12月4日(金)までとなっておりますので、まだの方は園打刻機横の回収ボックスまたは、ポスト投函していただきますよう、よろしくお願い致します。
- ・朝・夕の駐車場が混み合う時間帯は、駐車場をご利用になる方は速やかなご移動をお願い致します。